



# 長町中は今

ともに 上をめざして 長中

《学校目標》  
自主  
友愛  
創造

平成28年3月15日  
仙台市立長町中学校  
学校だより 第21号  
電話：(248)1444  
<http://www.sendai-c.ed.jp/~nagajh00/>

## 感謝を胸に 254名の巣立ち

3月12日(土)本校体育館を会場に第69回卒業証書授与式を行いました。当日はたくさんの保護者の方々と50名を越える地域のご来賓の方々においでいただき、254名の卒業生の旅立ちを見守りました。

卒業生に一人ずつ卒業証書を手渡した山内校長は、式辞の中で「身の回りに起こることに偶然はない。すべては運命、必然である。たとえ苦しんでいる時でも、そこには何らかの意味、目的がある。」と、この世に生を受けたことの重み、そして困難に負けない強さを持つことの大切さをはなむけの言葉として贈りました。

その後、在校生代表が「先輩方は、私たちにとってやさしく頼もしいあこがれの存在でした。今まで先輩方が築かれた長町中学校の伝統の上に、その思いを受け継ぐよう精進します。そして、長町中学校で学んだ自主・創造・友愛の精神を胸に新しい世界へ羽ばたいてください。」と送辞を述べました。そして卒業生代表は答辞の中で、合唱曲の歌詞になぞらえて「出会ったこと、笑ったこと、その全てにありがとう」と仲間や後輩達への感謝と「生まれてきたこと、育ててもらえたこと、出会ったこと、笑ったこと、その全てにありがとう」と両親への感謝を述べました。

最後に、卒業生が「いのちの歌」を合唱し、在校生代表の合唱団と共に「さよなら友よ」を歌い上げ感動の中で式が終わりました。卒業生が希望を胸に目標に向かって力強く歩んでいくことを祈りたいと思います。



### 『答辞』

卒業生代表

私たち254名は自らの夢を掴むためこの長町中学校を卒業します。合唱曲「いのちの歌」はこう歌います。「出会ったこと、笑ったこと、その全てにありがとう」出会ってから三年。いろいろな思いを分け合い支え合った友だち。たくさんの感動と喜びを分かち合うことができた仲間へ感謝感謝です。「若葉から大樹へ」という緑学年のスローガン。三年経った今、こんなにも大切な宝物を見つけることができた私たちは立派な大樹へと成長しました。その仲間と共に新たに始まる生活の中で様々なことに挑戦していきましょう。いろいろな人との出会いを通して、今よりもっともっと大きな自分になりましょう。

「いのちの歌」はこうも歌います。「生まれてきたこと、育ててもらえたこと、出会ったこと、笑ったこと、その全てにありがとう」お父さん、お母さん。喜びも悲しみも一緒に感じどんなときも味方でした。親という存在があったから、ここに元気な私たちがいます。お父さん、お母さんの子どもで良かった。わがままで生意気で手のかかる私たちですが、これからもよろしくお願いたします。「人は誰だって一人で生きていくことなんてできない」これは私が三年間で学んだことの一つです。私たちはいつもどこかで誰かに支えられてきました。そしてどこかで誰かを支えてきたのです。三年間なんて長い人生の中ではほんの一瞬かもしれません。しかし、その時を一生懸命生きたことは、一生忘れません。素晴らしい出会いをくれた長町中学校に、私たちを支えてくださったたくさんの方々に、そして私たちをここまで育ててくれた家族に、心から感謝して答辞といたします。

(一部抜粋)

